

小
橋



次第

都に梅乃小炭乃やうくうの

心乃梅乃ノ詩乃やう小の老ハ

下京也に位居ゆるも能ゆる

梅乃大原登の花々を窺能より

及乃るる美事人々能得ひ只々

大原山へ登急人 サ 亦乃一詠也

河くをあきと所々乃花も能乃

名^一り^一一^一ボ^一ノ^一海^一ノ^一大^一原^一山^一乃^一集^一操^一
今^一を^一盛^一と^一好^一ふ^一花^一後^一ノ^一向^一乃^一
袖^一も^一一^一志^一か^一よ^一ひ^一海^一ノ^一向^一乃^一
時^一を^一え^一え^一神^一も^一ま^一り^一り^一る^一ち^一わ^一後^一
く^一能^一兼^一や^一心^一の^一ま^一ま^一り^一る^一を^一
志^一ほ^一わ^一一^一え^一だ^一ふ^一城^一か^一き^一の^一袖^一
那^一ノ^一老^一木^一み^一一^一も^一も^一人^一や^一み^一等^一

名^一り^一一^一ボ^一ノ^一海^一ノ^一大^一原^一山^一乃^一集^一操^一
今^一を^一盛^一と^一好^一ふ^一花^一後^一ノ^一向^一乃^一
袖^一も^一一^一志^一か^一よ^一ひ^一海^一ノ^一向^一乃^一
時^一を^一え^一え^一神^一も^一ま^一り^一り^一る^一ち^一わ^一後^一
く^一能^一兼^一や^一心^一の^一ま^一ま^一り^一る^一を^一
志^一ほ^一わ^一一^一え^一だ^一ふ^一城^一か^一き^一の^一袖^一
那^一ノ^一老^一木^一み^一一^一も^一も^一人^一や^一み^一等^一

ワヤ

きーたもひ。ーかに自ひんを
きようぬ情のたよをうを
おのなひとひうツ那く
かゝる屋お女姉般集の其中に
さあ少年たりもまのい徳老人
おの枝をうさうも花屋から
みえ折ふたぐも何くもとま

折ふろ ^{ワヤ} 思ひよすや女姉乃

中にまあう云業だのき折ふ
さも心なまやさうは乃男ゆも
おろとぬをひきうもおまひ
あふり人よ ^上 びうさう山
うささふ心うわもむい
あうまあうなをハなうめや心

あつめむら所よりおもしろく作
是のつひのなる人乃は後母より
多^言くせん古此所小行孝此
有とよむど原に業更行まし
好ひのりがたけなくも后乃
清子を思ひひ物そ神代の子と成
りたりとあるわがふはきつる神

なすしづるあうけや天地乃
神乃御代より人のち此妹背に
さしあかすぬ^上み魂をしかる
山あうえくづりあまを世の
物しるまがくはも者男ありし
あわぬ勢乃程勢あそもづひ
なりをりわななまそもづひ

上地
 たりまろふ 実山のまも
 きりふりし人としゆまも
 ばあふらる海か 心
 とくも力あひまに所ぬ糸は
 ともになれささるるま
 上地
 まーまやまー猿か人鬼がう
 目本濃花の枝 花のまはやと

上地
 加ささる しのさー 猿袖をひま
 ひりれまのもろかもか信毎小
 上地
 夕陽のまが欠 ー 猿
 下地
 まろふかろえかさー 猿
 中地
 むろけひひささるー ひとわくに
 下地
 めろあき乃天も花まやえくは
 上地
 ろんまろふかろえかさー 猿

うきろふ人の面影あをさし
ほく矢にふるまへく 早言 不思議や

と徳老人ハだく人なるのみえ

ほろり相見小垣乃神代子古池

私光乃影ノ業原此花小初一

前を濟度の海歌リ一折ふとも

^{上言}おしひの露もたまきそり折ぐ

びわげ刀体も糸く流ぐんが流

は乃たぬ也日猶も奇特をまら

かたわく 後言上 月やおるぬ春や

昔は表なすぬがの男ももとの

男も志ろ一 早言 かきや那

まろまだ流たぬを見車子

庭まろいかな貴人の流有後と神ハ

いづのなる事やきりあ
なむぬやい花のひい冬

よもい一い有い神代農物い

葉歌い一いわいあい葉いの

侍い一いやい地生乃い孫い一い朽いもいさいそい

舞い一い一人もい涙いふいにいおいしいひいろい

心い一い侍い歌い一い葉いもい今いきいふいこいひい冬い

あ可冬い雪いといりい少いわい服いもい一いしい

清い一いいいあいかい葉いといみい一いやい也い

後い一いにいいいさいないもい一いりい服いもい

雪いもい一い那い白い雪いにいとい人い遠いさいくいくい

がい一いきい一い表い袖い少い神いるい花い見いくい處い万い

くい一いるいもい一いわい月い形いもい家いよいもいいいらいういよい

うい一い就い衣い膚い一い刻いあいこいひいるい花い小い

清き月日影懐まるくき冬
此時あわ ハリス ありし事心り
たゞよわく見せし義がゆり
ひと一たひ 下 なるまはる
おんとも人志事ぬぢる辰
さハを流つし思ひうらま
まを能く乃露志願くにも秋

くあや 下 此日登流わり思乃
しとね志のあのみ 下 加きわ
ま 下 奥子
母ぬもらし 下 秋の乱行す
思ふ 下 懐く 下 懐くも
念の 下 小女 下 なる
あ 下 なる

はまーまをさづかしく芽ぬる
づひをーる思ふ心のおくさる
づまこ志づら巻くくわはひ乃執
なまや東山づら枝も又あはまは
ばぐーな鬼ひとのちる珠や
まきーはくいきふあかやたう
あま乃素もこも枝わかあもまた



ごもあちる珠あは原や小櫃
はくく海路乃りあはあな
恋程のまのまややりのまあま
まーあところも人もし
者り取むーり那花も所も
月も表あまー侍者を兼も
五ひ神も忘れぬ心や

小梅の山風の寒ささらさら
地さざわ迷ふ木は本郷
まよめまはれまはれまはれ
うたふりまひまはれまはれ
祇まをめぐりるはる月
おんほろく花よわのこほろく



